



中学生の 新たな休日のカタチ ～部活動の地域展開～

「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という考えのもと、「部活動の地域展開」が進められています。本市の中学校では、生徒自身が休日の過ごし方を決め、生徒のニーズに応じたスポーツや文化活動に取り組むとともに、地域のさまざまな活動に参加できるように、令和4年度から休日の部活動の活動日数を段階的に減らし、生徒が選んだ活動に参加できる環境を整備しています。

令和7年4月から廃止となった休日の部活動に代わって始まっている「中学生の新たな休日のカタチ」をご紹介します。

▶ 学校教育課 ☎23-3679

● なぜ部活動を地域展開するの？

「部活動の地域展開」とは、これまで中学校の教員が担ってきた部活動の指導を、地域やクラブ・団体などと連携して地域全体で取り組むことを言います。

少子化によって団体競技のチーム編成が難しい学校も出始め、活動の継続が難しくなると考えられています。また、社会問題とされる教員の多忙化や長時間勤務は、休日の部活動指導が大きな要因の一つとされています。

そのため、学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていくことに加え、新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする「地域展開」が進められています。

● 地域展開することのメリット

- 活動のジャンルを幅広く選べるようになるので、休日の活動の選択肢が増えます。
- 地域の指導者や専門的な知識を持つコーチなどからの指導が受けられます。
- 他校の生徒や大人など、学校以外のメンバーとの交流が生まれます。
- 教員の部活動に携わる時間が減るため、生徒との関わりや教育活動を充実させることができます。

